



大人への門出を祝う

562人が新成人

大人への門出を祝う成人式が一月十五日、市民体育館で行われ、男性二百九十六人、女性二百六十六人が大人の仲間入りをしました。まずオープニングは、全国青年大会へも出場した、障害者問題を扱った創作劇「詩」を上演。最初は騒々しかった会場も、青年団員の熱演に皆さん熱心に見入っていました。

次に式典に移り、市長が「郷土を愛する気持ちを忘れず、人生の深さ、複雑さを理解するため、いつまでもチャレンジしてください」と激励。来賓の祝辞の後、成人を代表して中古修二さん（白木谷）が、「使命感を持って、強く生きてゆきたい」と、二十歳の決意を述べました。引き続きなつかしそに、二十年間の出来事のスライドを見て式を終わりました。

毎年のことですが、今年も女性には晴れ着姿がほとんどでした。他の市町村では平服成人式が言われる中、南国市ではそういう声はあまり聞かれませんか。また、来年限が成人を迎えるということで、カメラを持参して着物を写しているお母さんもありました。かわいい娘のためという親心はわかります。

が、もう少し成人式の意味を考えてみる必要もあるのでは。新成人の皆さん、ひとりの大人という意識をしっかりと持って、未来へ大きく羽ばたいてください。なお、当日大人へのスタートの記念にと、「はたちの献血」に協力していただいたかたは、五十六人でした。

大人への誓いを秘めて

式典に臨む二十歳の若者たち

南国歌壇

夜明けにはまだ刻早き御社に
鶏鳴高ききし初春

三島 小笠原綾子

日の光がよふ朝の狭庭辺に
いつしらの梅の香著くみゆ

大浦 中田意秀

交配をなせとも西瓜の実のらさる
ハウスに冷たき雨の降りつぐ

西島 高橋佐代

這うようにゲートボールに老婆来
て 球打つときは腰よく伸びぬ

篠原 山本 茂

片すみに一輪一輪ふる花
老いたる人の愛の奉仕

下野田 北村優美子

大破せる事故車のヘッドの注連飾
まぶしく浮かぶ検証の灯に

小笠 北 恒水

南国柳壇

若い日の甘い夢追う年賀状

古市 島田稔子

お雑煮に入れぬ取られて年始め
十市 沢村鶴一

晩酌の箸が止まった大勝負
植田 吉本其梅

バターよりも大砲だよと風見鶏
後免町 隅田俊作

南国俳壇

実むらさき手折して料の一つ増ゆ
墨すれば墨の匂いや菊の雨

高村三喜子（忍冬句会）

鳴かないで血圧が昇るから秋鶴
若水を汲む地下水のくにに住み

馬場左枝（〃）

寒晴や一気にはがす手漉和紙
糸紙めてきりきりと巻く暗嘩独楽

北村菊女（天狼俳句会）

足袋穴をかきながらの日向ぼこ
白菜へぎつくと包丁当てにけり

木戸 節（〃）

日向ぼこ近寄るものに目をあける
澤村 節（おがたま会）

中田登志恵（〃）

